



◆ 歓迎昼食会

2025.5.19(月) / 12:00 - 13:30
緑町公園

開会式後、約500人が緑町公園に移動し、六角錘状のばら花壇・ローズヒルの満開のばらを囲んで食事を楽しみました。

ローズヒル頂上部では、ばらオーナー会がローズヒルの成り立ちやばらオーナー制度を紹介し、多くの大会参加者の関心を集めました。また、福山大会を記念して前日18日(日)に行われた国際ばらコンテストの表彰式では、大会参加者から受賞者へ温かい拍手が送られました。



世界バラ会連合審査特別賞の授与



解説する
ばらオーナー会
浦隅 俊明最高顧問



国際ばらコンテストには
135品の出品があり、14品が受賞

約540品種・7,500本の
満開のばらが参加者を魅了



◆ ガイドウォーク

2025.5.19(月) / 13:30 - 17:00
緑町公園～Rose Expo会場～花園公園～ばら公園～JR福山駅前

歓迎昼食会後に、Rose Expo会場や花園公園、ばら公園など約1.5kmのローズロードのばらの見どころを巡るガイドウォークを実施しました。

大会参加者は、ボランティア・認定ばらガイドの案内で、至るところにばらが咲く福山ならではの風景を楽しみながら、バナーフラッグや路面案内標示を目印に散策しました。



リニューアルしたばら公園の9つのテーマガーデンを認定ばらガイドが案内。大会参加者は、アーチやスタンダードローズ、宿根草が組み合わせられたデザイン豊かな公園の説明に熱心に聞き入っていました

◆ コンベンションバッグ

大会参加者には記念品として福山とばらの魅力を詰め込んだコンベンションバッグを配付しました。大会期間中、バッグを持ち歩く姿が見られるなど、大変好評でした。

バッグ

このバッグは剪定時に発生するばらの枝から制作されたものです。福山市内のばら園・地域ばら花壇では、綺麗な花を咲かせるために剪定を行っていますが、その多くが廃棄されていました。そこで、市内のデニム関連事業者が地域ばら花壇等に協力を呼びかけて枝を回収し、廃棄されるはずだったばらをアップサイクルしたデニム生地を開発しました。この生地を使用し、大会ロゴの刺繍を施して完成したバッグには、日本のデニム産地・福山の技術の粋が集まっています。

協力事業者 篠原テキスタイル株式会社(織布)、有限会社アルファ企画(大会ロゴ刺繍)、株式会社Rinnovation(剪定枝の素材化) ほか

内容

- 大会プログラム冊子 ● 写真集「福山物語」 ● クリアファイル
- 大会ロゴ入りボールペン ● 中国新聞(別刷り特集)
- 薔薇香るゼリー(福山市農業協同組合提供)
- ハンドクリーム(ジュリークインターナショナル提供)
- 寺岡醤油ミニボトル(寺岡有機醸造株式会社提供)
- 備前焼の折りばら(香神窯提供)
- ゆうちゃんとまほうのばら絵本(Rose FIG提供)
- しおり(広島県立福山特別支援学校提供)
- 県産間伐材コースター(広島県提供)
- 2022年世界バラ会連合優秀書籍賞受賞「野ばらハンドブック」(著者・御巫由紀提供)

